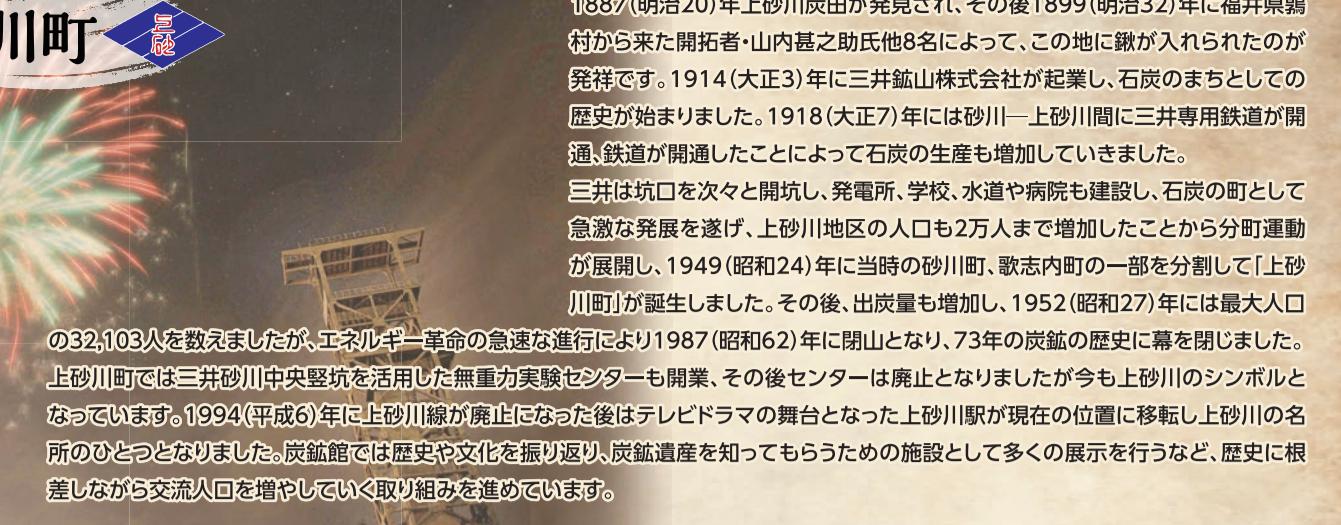


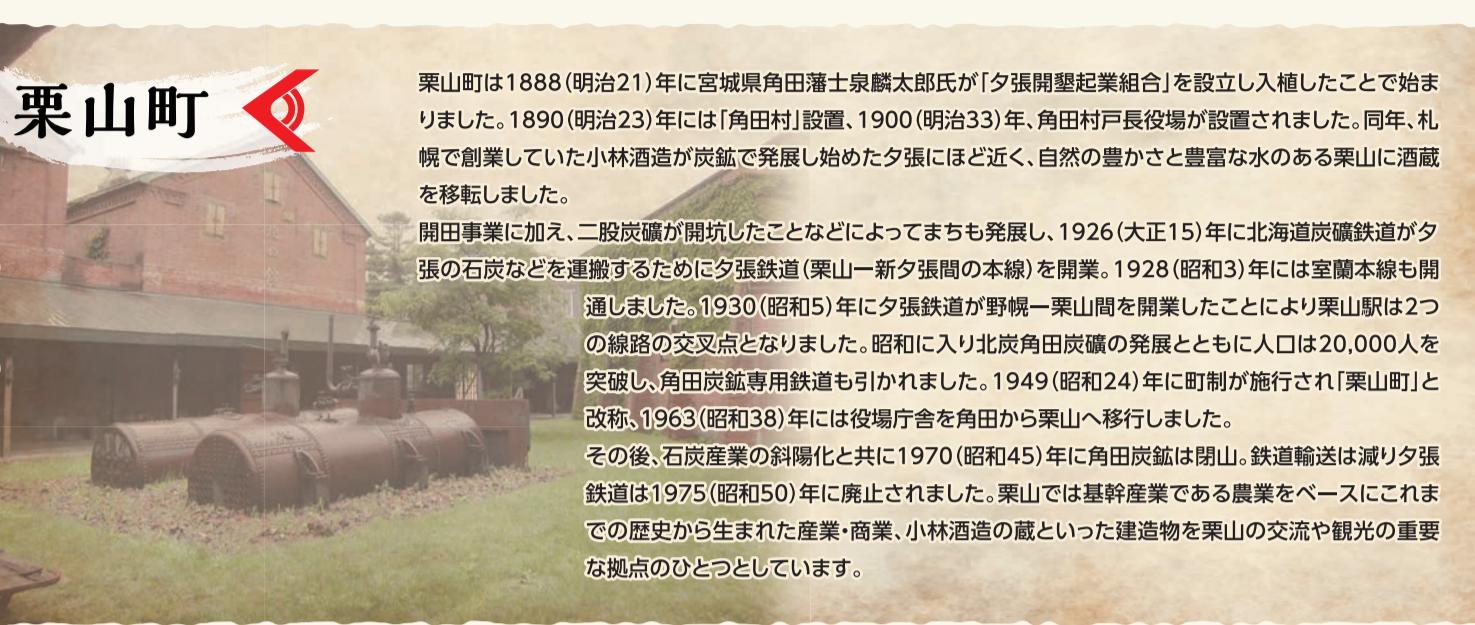
## 上砂川町



1887(明治20)年に上砂川炭田が発見され、その後1899(明治32)年に福井県鶴岡村から開拓者の山基之助他8名によって、この中に織が入れられたのが発見です。1914(大正3)年に三井株式会社が起業し、石炭のまちとしての歴史が始まりました。1916(大正7)年には砂川・上砂川間に三井専用鉄道が開通したところによって石炭の生産も増加してきました。

三井は坑口を次々と開拓し、発電所、学校、水浴場なども建設し、石炭の町として急速な発展を遂げ、上砂川地区の人口も2万人まで増加したことから分町運動が開始し、1949(昭和24)年に當時の砂川町の一部を分割して上砂川町が誕生しました。その後、出炭量が増加し、1952(昭和27)年には最大人口約1万5千人となりました。その後セントラル開拓となりましたが今も砂川のシンボルとなっています。1994(平成6)年に上砂川線が廃止になった後はテレビドラマの舞台となった上砂川駅が現在の位置に移転し上砂川の名所のひとつとなりました。炭鉱館では歴史や文化を振り返り炭鉱遺産を知ってもらうための施設として多くの展示を行なうなど、歴史に根差しながら交流人口を増やしていく取り組みを進めています。

## 栗山町

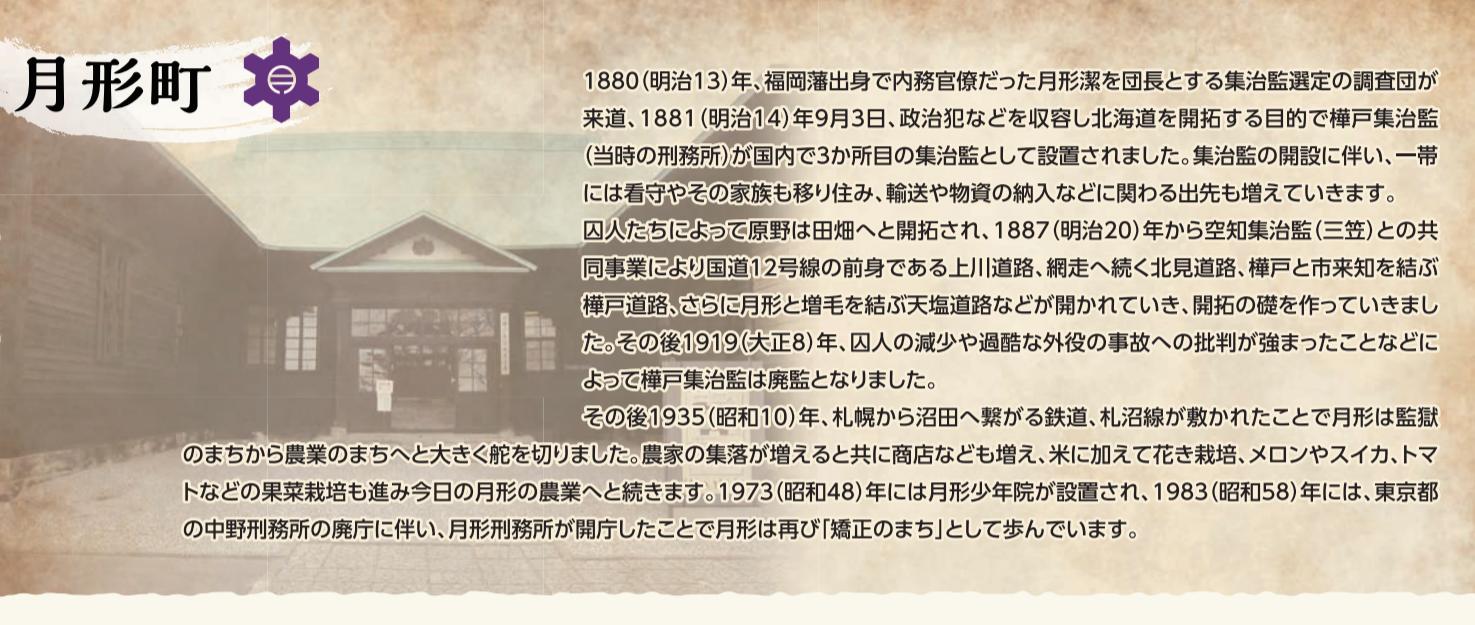


栗山町は1888(明治21)年に遠軽郡栗山町太郎部が「タ張開拓業組合」を設立し入植したことから始まりました。1890(明治23)年に角田村設置、1900(明治33)年、角田村長役場が設置されました。同年、札幌で創業していた小林酒造が炭鉱で发展し始めたタ張にほど近く、自然の豊かさと豊富な水のある栗山に酒蔵を開拓しました。

開田事業に加え、二股炭礦が開坑したことによってまちも発展し、1926(大正15)年に北海道炭礦鉄道がタ張の石炭などを運搬するためタ張駅(栗山・タ張駅の本線)を開業。1928(昭和3)年に室蘭市と開通したことにより栗山駅は2つの鉄道の交換点となりました。昭和になり北東北炭礦開拓の発展とともに人口は20,000人を突破し、角田炭礦が炭鉱で開拓も引かれました。1949(昭和24)年に町が施行され「栗山町」と改称。1963(昭和38)年には役場を角田から栗山へ移行しました。

その後、石炭産業の効率化と共に1970(昭和45)年に角田炭鉱が閉山。鉄道輸送は減りタ張駅は1975(昭和50)年に廃止されました。栗山では石炭産業である産業をベースにこれまで歴史から生まれた産業、商業、小林酒造の蔵といった建造物を栗山の流れや観光の重要な拠点のひとつとしています。

## 月形町

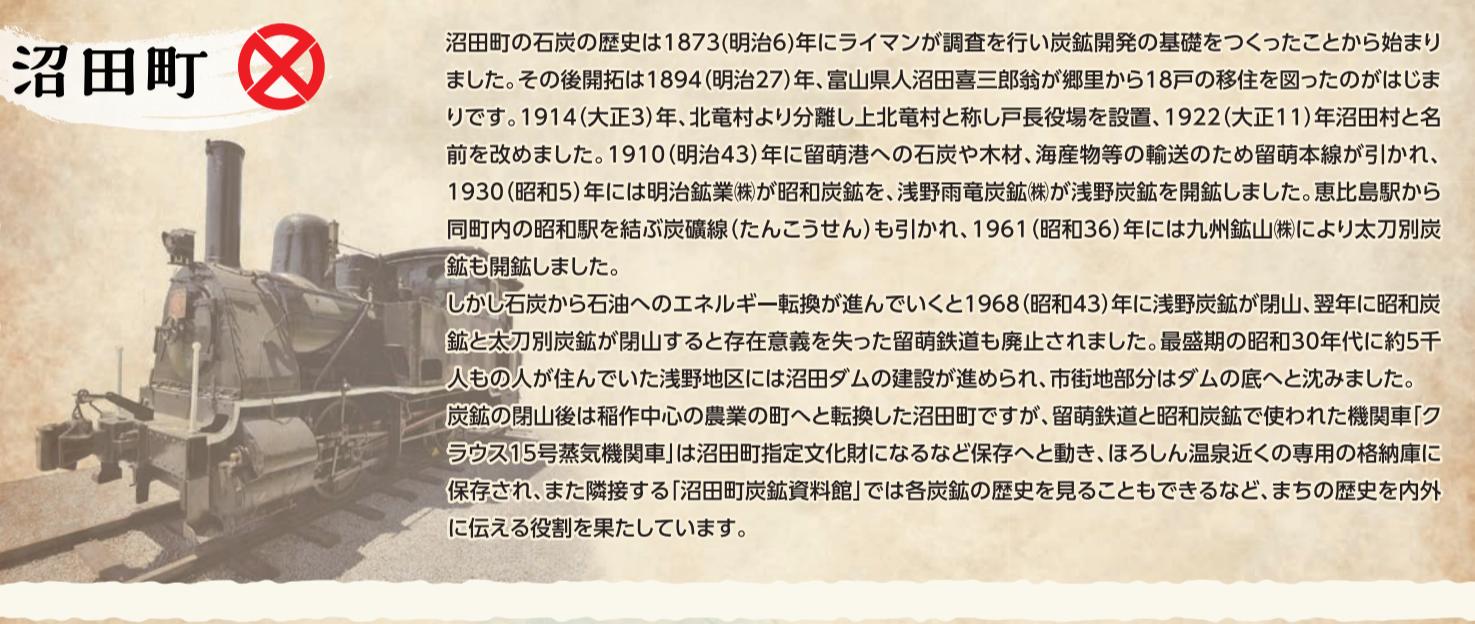


1880(明治13)年、福岡出身で内務官僚だった月形義を回長とする集策監選定の調査団が来道し、1881(明治14)年4月3日、政治犯などを収容し北海道を閲覧する目的で集戸集策監(当時の行政所)が境内で3か所の集策監として設置されました。集策監の閲覧に伴い一帯には看守とその家臣も移り住み、輸送や物資の納入などに携わる先住も増えています。

囚いたちはそこで原野を徘徊へと開拓され、1887(明治20)年から知集治監(三笠)との共同事業により国道12号線の前身である上砂川路、諏走へ続く北見道沿、樽木と市来を結ぶ樽木道沿、諏走に至る増尾橋と樺塙道路などが開かれていき、開拓の壁を作っていました。その後1919(大正8)年に人の減少や過疋の外傷の事故への批判が強まりたことなどによって樽木集策監は廃止となりました。

その後1935(昭和10)年、札幌から沼田へ駆けた鉄道、札幌線が敷かれたことで月形は監獄のまちから農業のまちへと大きく舵を切りました。農業の集落が増えと共に商店なども増え、米に加えて花き栽培、メロンやスイカ、トマトなどの果樹栽培も進み今日の月形の農業へと続きます。1973(昭和48)年には月形少年院が設置され、1983(昭和58)年には東京都の中野刑務所の廃庁に伴い、月形刑務所が開院したことで月形は再び「矯正のまち」として歩んでいます。

## 沼田町

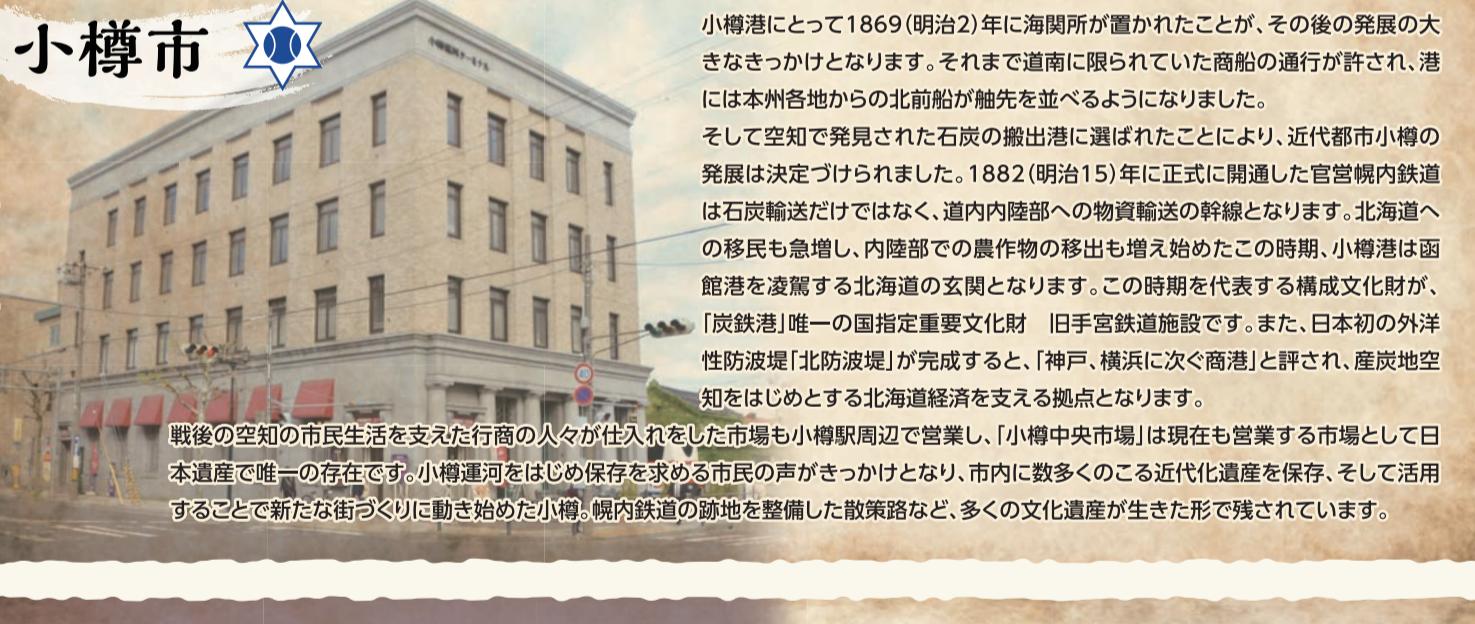


沼田町の石炭の歴史は1873(明治6)年にライマンが調査を行い炭鉱開発の基礎をつくったことから始まりました。その後開拓は1894(明治7)年、富良野市より沼田炭礦が開拓から18年の移動を圖ったのははじまりです。1914(大正3)年、北竜村より移り戸上電力社とし戸長役場を設置。1922(大正11)年沼田町と名前を改めました。1910(明治33)年に留萌港での石炭や海産物等の輸送のため留萌本線が引かれ、1930(昭和5)年には明治鉱業社と昭和炭鉱、浅野雨電炭鉱が浅野炭鉱を開拓しました。恵比島駅から同町内の昭和町を結ぶ鉄道線(たんこうせき)も引かれ、1961(昭和36)年には九釧路線と並び第三別力炭鉱も開拓しました。

しかし石炭や石油のエネルギー交換が進んでいくと1968(昭和43)年に浅野炭鉱が閉山。翌年、昭和炭鉱と第三別力炭鉱が閉山すると存続意義を失った留萌鉄道も廃止されました。最盛期の昭和30年代に約5千人もの人が住んでいた浅野地区には沼田の建設が進められ、市街地が分厚いものと次第に変化してきました。

炭鉱の廃止後は福作中の農業の町と化した沼田町ですが、留萌鉄道と留萌炭鉱で生まれた機関車「クマウラ15号蒸気機関車」は沼田町指定文化財になるなど保存へと動き、ほらん温泉近くの専用の炭鉱庫に保存され、また隣接する沼田町炭鉱資料館「沼田町炭鉱資料館」では各炭鉱の歴史を見ることできるなど、まちの歴史を内外に伝える役割を果たしています。

## 小樽市

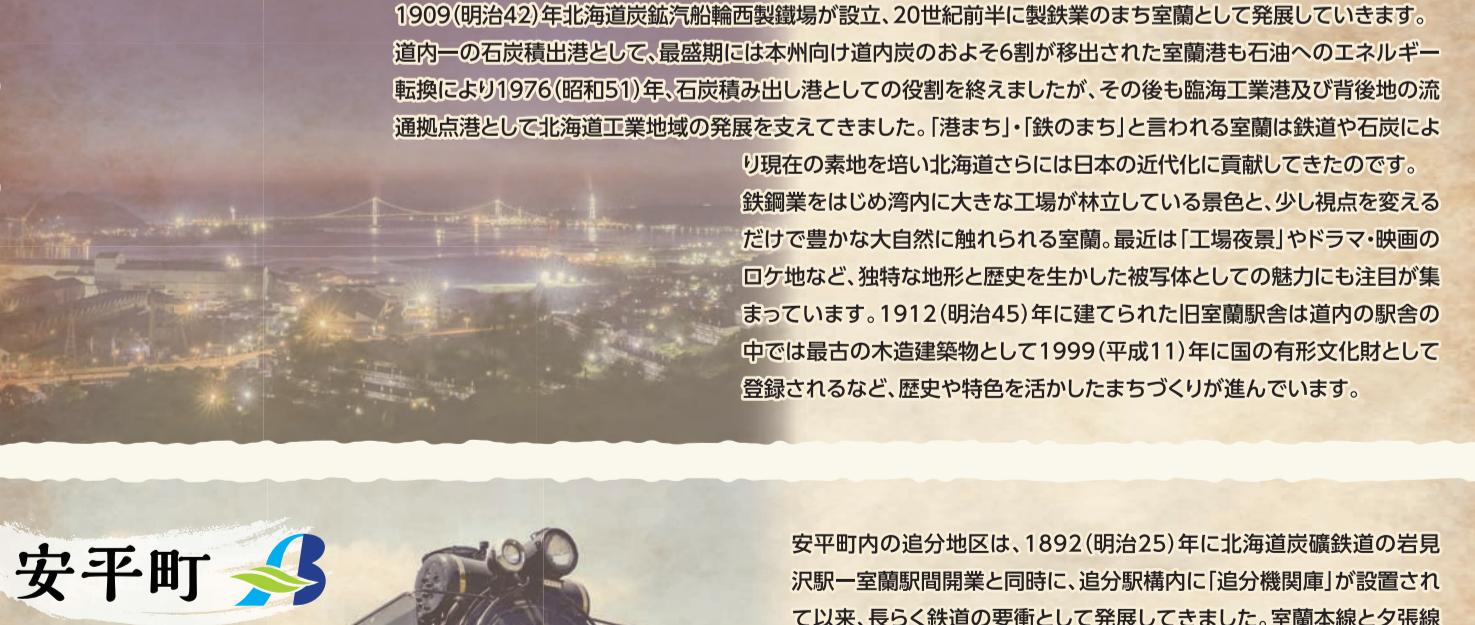


小樽港にとって1869(明治2)年に開港所が置かれたことが、その後の発展の大さきなきっかけとなります。それまで南に開かれていた商港が許され、港には本州方面からの北航船が船を並べるようになりました。

そして突如で発見された石炭の搬出港に選ばれたことにより、近代都市小樽の発展は決定づけられました。1882(明治15)年に正式に開港した官営内陸鉄道(炭鉱輸送)だけではなく、道内内部の作物輸送の幹線となりました。北海道への移民も急増し、内陸部での作物の移出も増加したことのため、新小樽港は函館港を凌駕する北海道の玄関となります。この時期を代表する構成文化財が、炭鉄港唯一の国定重要文化財「旧手宮駅舎」です。また日本の海外への洋性化(波瀬)、「北防波堤」が完成すると、「神戸、横浜(次ぐ商港)」と評され、産炭地空港はじめと北海道経済を支える拠点となります。

戦後の空の市民生活を支え飛行機の人々が仕入れた市場も小樽駅周辺で営業し、小樽中央市場は現在も営業する市場として日本全国で唯一の存在です。小樽港ははじめ保存を求める市民の声がきっかけとなり、市内多くの近代化遺産を保存、そして活用することで新たな街づくりを始めた小樽駅周辺の鉄道地帯を整備した散策路など、多くの文化遺産が生きた形で残されています。

## 室蘭市

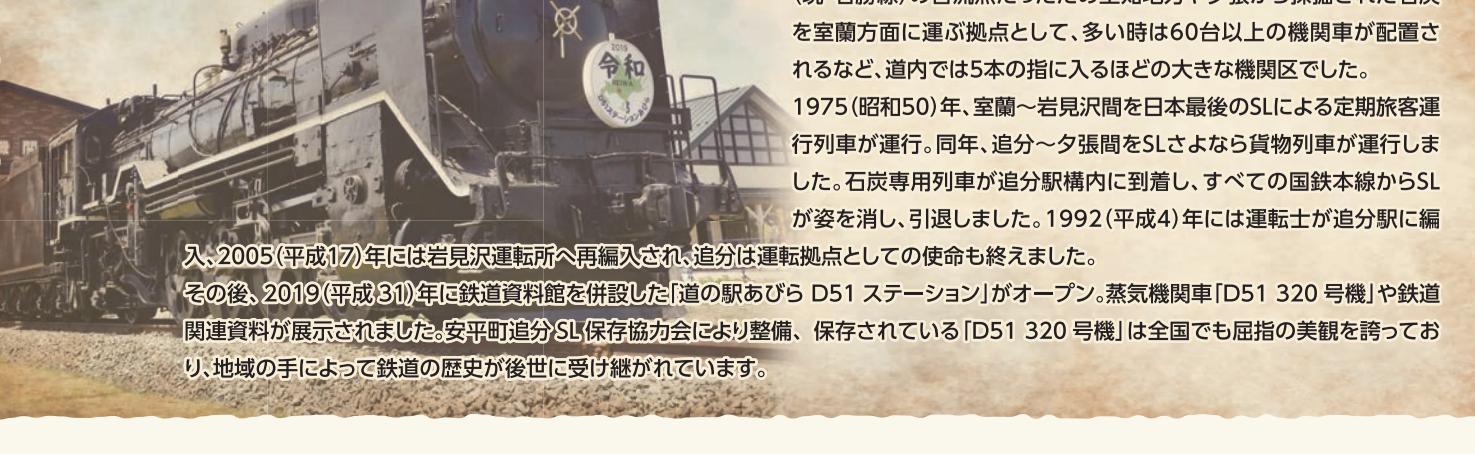


1872(明治5)年に室蘭港が開港すると翌年1873(明治6)年に函館・森(=海路)・室蘭・札幌が結ぶ幌木本線が完成します。以来1892(明治25)年の鉄道開拓、1894(明治27)年には特別輸出港にも指定され19世紀後に天然の良港と空知地方からの石炭搬送による石炭埠頭が出来てきました。その後、1907(明治40)年に日本製鉄所、1909(明治42)年北海道炭鉱・鉄道・炭鉱開拓社設立、20世紀半ばに炭鉱業の立ち退きとして発展しています。道内一の炭鉱港として、最盛期には本州向けの炭鉱のようそろが付せられた室蘭駅は、北海道の工業地帯として発展しています。1976(昭和51)年、石炭積み出し港としての開港を終えましたが、その後も石炭工場及び背後地の流通拠点として北海道工業地域の発展を支えています。「港まち」・「鉄のまち」と書かれた室蘭は、鉄道や石炭によく形容されるなど、歴史や特色を活かしたまちづくりが進んでいます。

鐵鋼運はまさに北海道の大工場で、林立している色と、少しきれいな風景が印象的です。

豊かな自然に触れられる空間、まさに「工場夜景」やドラマ・映画のロケ地など、独特な地形や歴史を生き残った被雪体としての魅込にも注目が集まっています。1912(明治45)年に建てられた旧室蘭駅舎は道内の駅舎の中でも最古の建造物として1999(平成11)年に国の有形文化財として登録されるなど、歴史や特色を活かしたまちづくりが進んでいます。

## 安平町



安平町内の分地区は、1892(明治25)年に北海道炭鉱鉄道の岩見沢駅・室蘭駅間開業と共に、分駅構内に「追分機関車」が設置され以降、長らく石炭の運搬として発展してきました。室蘭本線と張線(現・石炭線)の合流点がたため空知地方や夕張から採掘された石炭を室蘭方面に運搬する拠点として、多い時は60台以上の機関車で運搬されました。道内では日本の鉄道構造が設置されなど、道内では日本の鉄道構造が設置されました。

1975(昭和50)年、室蘭・岩見沢間に日本最後のSLによる定期旅客運行が実現され、運転を担当する石炭専用列車が追分駅に到着し、すべての国鉄本線からSLが姿を消し、引退しました。1992(平成4)年には運転士が追分駅に編成された。

その後、2005(平成17)年には岩見沢駅所内に廃止された追分駅としての使命を終えました。

その後、2019(平成31)年に鉄道資料館を併設した駅のあたりD51ステーションがオープン。蒸気機関車D51 320号機や鉄道に関する展示が実現されました。安平町はSL保存会に協力して、保存されているD51 320号機は全国でも屈指の美観を誇っています。

このほか、労働者が行き交う砂川、栗山では製糞業が発達し、「栗まんじゅう」「きびだんご」などの銘菓人気につながりました。また、栗山の「小林商店」は炭鉱の歴史とり難せません。小樽に菓子店が多いのは、早くから北海道商業都市として繁榮した立地環境ゆえ。鉄道の要衝でもあった小樽は、炭鉱地に魚介を運ぶ商船「ガングン部隊」の往来で賑わった「小樽中央市場」など市場が数多く残っています。



## 距離表 How to 「Tan Tetsu Kou」

【炭鉄港】を構成する13市町の中心部までのおよそその距離と自動車での移動時間です。日本遺産の45構成文化財には、さらにそれを移動時間が必要なときに施設がある場合もあわせて下さい。

冬期間など、天候や路面状況が悪い場合は移動にかかる時間が掛かりますのでご注意下さい。また、燃料の給油もこまめに行なうことをお勧めします。

【注意!】  
冬期間など、天候や路面状況が悪い場合は移動にかかる時間が掛かりますのでご注意下さい。また、燃料の給油もこまめに行なうことをお勧めします。

【JR利用の場合】  
【高速道路利用の場合】  
【国道利用の場合】

【このパンフレットについてのお問い合わせ】  
〒068-8558 岩見沢市 8条西 5丁目 北海道空知総合振興局地域創生部地域政策課  
TEL 0126-20-0146  
URL : <http://www.sorachi.hokkaido.lg.jp/>  
※紙面に掲載されている情報は、令和3年現在のものです。

このパンフレットは「ふるさと北海道応援寄附金」を活用して作成しています。

【このパンフレットについてのお問い合わせ】  
〒068-8558 岩見沢市 8条西 5丁目 北海道空知総合振興局地域創生部地域政策課  
TEL 0126-20-0146  
URL : <http://www.sorachi.hokkaido.lg.jp/>  
※紙面に掲載されている情報は、令和3年現在のものです。

このパンフレットは「ふるさと北海道応援寄附金」を活用して作成しています。

【このパンフレットについてのお問い合わせ】  
〒068-8558 岩見沢市 8条西 5丁目 北海道空知総合振興局地域創生部地域政策課  
TEL 0126-20-0146  
URL : <http://www.sorachi.hokkaido.lg.jp/>  
※紙面に掲載されている情報は、令和3年現在のものです。

このパンフレットは「ふるさと北海道応援寄附金」を活用して作成しています。

【このパンフレットについてのお問い合わせ】  
〒068-8558 岩見沢市 8条西 5丁目 北海道空知総合振興局地域創生部地域政策課  
TEL 0126-20-0146  
URL : <http://www.sorachi.hokkaido.lg.jp/>  
※紙面に掲載されている情報は、令和3年現在のものです。

このパンフレットは「ふるさと北海道応援寄附金」を活用して作成しています。

【このパンフレットについてのお問い合わせ】  
〒068-8558 岩見沢市 8条西 5丁目 北海道空知総合振興局地域創生部地域政策課  
TEL 0126-20-0146  
URL : <http://www.sorachi.hokkaido.lg.jp/>  
※紙面に掲載されている情報は、令和3年現在のものです。

このパンフレットは「ふるさと北海道応援寄附金」を活用して作成しています。

【このパンフレットについてのお問い合わせ】  
〒068-8558 岩見沢市 8条西 5丁目 北海道空知総合振興局地域創生部地域政策課  
TEL 0126-20-0146  
URL : <http://www.sorachi.hokkaido.lg.jp/>  
※紙面に掲載されている情報は、令和3年現在のものです。

このパンフレットは「ふるさと北海道応援寄附金」を活用して作成しています。

【このパンフレットについてのお問い合わせ】  
〒068-8558 岩見沢市 8条西 5丁目 北海道空知総合振興局地域創生部地域政策課  
TEL 0126-20-0146  
URL : <http://www.sorachi.hokkaido.lg.jp/>  
※紙面に掲載されている情報は、令和3年現在のものです。

このパンフレットは「ふるさと北海道応援寄附金」を活用して作成しています。

【このパンフレットについてのお問い合わせ】  
〒068-8558 岩見沢市 8条西 5丁目 北海道空知総合振興局地域創生部地域政策課  
TEL 0126-20-0146  
URL : <http://www.sorachi.hokkaido.lg.jp/>  
※紙面に掲載されている情報は、令和3年現在のものです。

このパンフレットは「ふるさと北海道応援寄附金」を活用して作成しています。

【このパンフレットについてのお問い合わせ】  
〒068-8558 岩見沢市 8条西 5丁目 北海道空知総合振興局地域創生部地域政策課  
TEL 0126-20-0146  
URL : <http://www.sorachi.hokkaido.lg.jp/>  
※紙面に掲載されている情報は、令和3年現在のものです。

このパンフレットは「ふるさと北海道応援寄附金」を活用して作成しています。

【このパンフレットについてのお問い合わせ】  
〒068-8558 岩見沢市 8条西 5丁目 北海道空知総合振興局地域創生部地域政策課  
TEL 0126-20-0146  
URL : <http://www.sorachi.hokkaido.lg.jp/>  
※紙面に掲載されている情報は、令和3年現在のものです。

このパンフレットは「ふるさと北海道応援寄附金」を活用して作成しています。

【このパンフレットについてのお問い合わせ】  
〒068-8558 岩見沢市 8条西 5丁目 北海道空知総合振興局地域創生部地域政策課  
TEL 0126-20-0146  
URL : <http://www.sorachi.hokkaido.lg.jp/>  
※紙面に掲載されている情報は、令和3年現在のものです。

このパンフレットは「ふるさと北海道応援寄附金」を活用して作成しています。

【このパンフレットについてのお問い合わせ】  
〒068-8558 岩見沢市 8条西 5丁目 北海道空知総合振興局地域創生部地域政策課  
TEL 0126-20-0146  
URL : <http://www.sorachi.hokkaido.lg.jp/>  
※紙面に掲載されている情報は、令和3年現在のものです。

このパンフレットは「ふるさと